

「叛旗」縮刷版 総目次

一九七一年

☆創刊号(一月二〇日).....一

○へかくめいへ旅立つ戦士たちへ
刊の辞(共産主義者同盟政治局)

○七〇年代を我らのものとするために
首都圏各戦線報告(三多摩、中部、南部、西部、埼玉、千葉、高校生)

○裁判闘争への視点へその一
(戦闘団戦士) 立花薫

○戦闘宣言から戦闘へ 一二・一七政治集会基調報告要旨 三上治

☆二号(二月五日).....五

○日本支配階級の帝国主義的再編を粉碎し
党一軍一統一戦線の陣型を強化せよ

○砂川報告 三多摩地区反帝戦線農工大班
○裁判闘争への視点(その二) 立花薫

☆三号(二月二〇日).....七

○「党一大衆」運動の現段階 八派一全共闘の止揚とは

○学費闘争方針(下) 南部地区明学大班
○三池一砂川一三里塚 三多摩地区A I F

☆四号(三月五日).....九

○三里塚へ 総力戦へ

○三里塚現闘アピール+闘争日誌
○不当弾圧抗議(埼玉)集会報告(神奈川)

☆五号(三月二〇日).....一一

○当世知識層の政治思想批判(一) 神津陽
○学費闘争方針(下) 明学大班

○三多摩現闘死守一第二次収用実力阻止へ
○成田闘争の現局面と問題点 編集局

☆六号(四月五日).....一三

○教育労働者の選ぶ道は何か(寄稿・山田武)
○日本革命思想(一) 三上治

○四月政治スト貫徹し中央権力闘争を撃ち
抜け

○三里塚の持続に執着し関係の革命へ 三里塚現地行動隊報告

○三・二四三里塚闘争報告集を圧倒的に
貫徹

○検門体制を実力突破 明学大学費闘争報告

○七〇年代権力闘争へ向けて救済活動の
なる領域を切り拓け 共産主義者同盟校対

☆七号(四月二〇日).....一五

○沖繩人民一三里塚農民と連帯し四月闘争
の全面展開へ 総力を結集しバリスト貫

徹へ 支配階級の攻勢を粉碎せよ
○防衛庁を包囲せよ 中部地区反帝戦線

○橋頭堡より進撃し「武装」拠点形成へ
北部地区青年同盟

○沖繩闘争を地区闘から全領域へ 南部
地区反帝戦線

○鋼の三角地点を有機的に再編せよ 三多
摩地区反帝戦線

○「階級」創出へ向かう闘いの陣型を構築
せよ 西部地区反帝戦線

○神奈川、埼玉報告
○当世知識層の政治思想批判(二) 神津陽

☆八号(五月五日).....一七

○六月沖繩返還調印阻止へ

○四・二七防衛庁攻撃闘争を打ちぬく
○四・二八対理戦党派闘争報告

○五・一九沖繩全島ゼネストに呼応し第五
次砂川闘争に決起せよ

○沖繩政治ストを貫徹 南部・青学大
○三里塚闘争公判への視点 共産主義者同

盟救対部
○都戦戦線からの報告 上田進

☆九号(五月二〇日).....一九

○六・三共産同政治集会に結集せよ
○「かくめい」に向かう綱領一戦略の創出へ

○沖繩返還協定粉碎・三里塚第二次強制収
用実力阻止へ向け全戦線を拡大強化せよ

○自衛隊沖繩派兵に抗し五・二三叛軍闘争
に結集せよ 中部地区反帝戦線

○新防衛庁整備計画防衛庁原案(資料)
○青年同盟の建設に向けた現段階 共産主

義青年同盟準備委員会
☆十号(六月五日).....二一

○沖繩返還協定日一米同時調印粉碎へ全力
量を傾けよ

○五・二二市ヶ谷叛軍闘争を貫徹 中部地
区反帝戦線(中大、法大、理大、専大、電

機大)
○自衛隊の九月立川基地移駐阻止に向け、
砂川反戦塹壕を強化せよ

○テック闘争の現段階 西部地区反帝戦線
○「世界一民族」「国家一市民社会」を超

えるために 三上治
☆十一号(六月二〇日).....二三

○青山通りで攻防戦を展開 日一琉一体化
路線の全面的展開に更なる闘いを

○第二次強制収用実力阻止 三里塚を紅蓮
の炎に 三里塚現地行動隊

○砂川塹壕強化し、基地撤去へ 三多摩
地区反帝戦線

○六・一五中大学館解放一千五百名で地区
戦を貫徹 中部地区反帝戦線

○六・三共産同政治集会報告
○獄中からのアピール 福井昌平

☆十二号(七月五日).....二五

○「民族一国家」「擬制的世界」を撃つ戦
略と政治路線

○関西派の三里塚闘争に対する敵対とテロ
・リンチを糾弾する 京都発

○第五次砂川闘争の勝利に向け七・一〇集
会を圧倒的に打ち取れ 三多摩地区反帝戦

線
○新なる労働運動の創出に向け闘う社会拠
点を強化せよ 西部地区反帝戦線

○闘う自治会を確立 南部地区反帝戦線

青学大班
○第二次強制収用実力阻止闘争に向け日夜
諸任務を貫徹 反帝戦線三里塚現地行動隊

☆十三号(七月二〇日).....二七

○対峙から攻撃へ 全ての力を結集せよ

○戦略・運動・組織の現段階と八派一全共
闘、反戦再編への具体的諸課題

○入管法を粉碎し革命的連帯を勝ち取れ
○七〇年代権力闘争の新天地に向け救済活

動の飛躍を打ち取れ 共産同救対本部
○三里塚第一・第二地点農民放送塔撤去を

実力で阻止せよ 三里塚闘争中央本部
○砂川・反戦放送塔建設で自衛隊移駐阻止

の攻勢へ 三多摩地区反帝戦線
○七・一七中大代々木寮に対する国家権力

の不当弾圧、捜索を許すな 中部地区反帝
戦線中大班

○党倒錯者集団を粉碎し拠点形成へ 反
帝戦線高校生フラク連合

○テック闘争緊急報告 西部地区反帝戦線
○戦線復帰アピール 立花薫

○労働運動の飛躍へ向けて 神津陽
☆十五号(八月二〇日).....三一

○反帝戦線五日間の激闘を打ち抜く 七・
二六一三〇農民放送塔強制収用阻止闘争

現地報告
○地域住民の支援の下砂川反戦塹壕の強化
進む

○テック闘争の更なる前進に向けて 戦線
報告一西部地区反帝戦線

○第四次中大闘争の戦闘的推進のために
全中闘への弔辞

○「かくめい」へ向けた七〇年代階級闘争
の鉄火の進撃を

○統一救対の分解局面に対する我々の見解
共産同救対部

☆十六号(九月五日).....三三

○八・二九砂川反戦放送塔の建設を打ち取
る 塹壕一放送塔を秋期闘争の拠点に

○組織建設の更なる飛躍に向けて 共青！
反帝戦線の組織的任務

○過渡期世界の新局面と我々の見解
○日本労働運動の跛行性を止揚する新なる労働戦線の構築に向けて

☆十七号(九月二〇日)……………三五
○三里塚の激闘を受け継ぎ日本民衆の闘う戦線を創出せよ 九・一六―一七第二次強制用阻止闘争の総括と教訓

○自衛隊立川基地進駐阻止闘争の現下の課題 九・六反対同盟声明に込める

○九・一二砂川集會を圧倒的に貫徹
☆十八号(一〇月五日)……………三七
○十・二一闘争の爆発で動揺する支配階級を追撃せよ 沖繩返還協定批准粉碎へ全戦線から結集せよ

○戦略・運動・組織構造の転質に向けた諸党派に対する批判的戦闘(その一)

○持続せる拠点砂川に七〇年代闘争の主体の創出を

○三里塚闘争の更なる持続に向けて 反帝戦線三里塚現闘本部アピール

○右翼・ガードマン・機動隊を粉碎す(麻布学園発)

○甲辞 三の宮文男君の死を悼む
反帝戦線三里塚現闘団

☆十九号(一〇月二〇日)……………三九
○支配階級の本命沖繩をつかみすべてのだたかいを集中し奔流とせよ

○一〇・二一沖繩批准粉碎の突破口を拓く

○一〇・一七立川闘争―自衛隊進駐阻止へ進局面

○一〇・一八中部地区労働者討論集會報告
○一〇・一五首都圏反帝戦線総決集會五百名で貫徹す

○闘う戦線強化進む―さらぎ派粉碎(明学大)、沖繩・砂川へ進撃(中大)、三里塚・砂川行動戦線へ(早大理工)

○獄中アピール 松尾、滝沢、斉藤
☆二〇号(一一月五日)……………四一

○沖繩闘争の現局面への見解と方針
○一・一〇沖繩全島ゼネストに呼応し反帝戦線実力闘争に勇飛す

○自衛隊進駐阻止闘争を打ち抜く 砂川(立川)闘争を革命主体の拠点とせよ

○情勢の新局面と我々の道(一) 共産同政治局
☆二一号(一一月二〇日)……………四三

○沖繩の永続的苦闘に最前線で答えよ 十一・一九批准粉碎闘争に実力決起

○学費値上粉碎・学園闘争勝利へ進撃せよ 闘争報告(法大、理大)

○麻生闘争全面勝利 処分撤回、山内退陣す AIF麻生学園班

○学園闘争にかかわる私達の相像力について(投稿) 下野順一郎

○情勢の新局面と我々の道(二) 共産同政治局
☆二二号(一二月五日)……………四五

○支配階級の延命策を全戦線で打ち砕け 沖繩関連法案を葬り日一琉一一体化路線を阻止せよ

○学費値上阻止全都共闘会議結成準備大会に結集せよ

○学費闘争報告(青学大、明学大、東経大各反帝戦線)

○情勢の新局面と我々の道(三) 共産同政治局
☆二三号(一二月二〇日)……………四七

○七〇年代階級闘争の烽火を打ち上げよ 一月佐藤訪米を実力阻止せよ

○学費・学園闘争の勝利的展開を大胆に押し進めよ 十二・一四全都共闘会議準備大会を打ち取る

○天浪共同墓地の強制代執行を実力で粉碎せよ

○資本の延命合理化を打ち砕け 西部地区AIFニチバン東京工場班
○一月進駐への諸策動を粉碎せよ 反戦墾壕闘争委員会(砂川)

一九七二年
☆二四・二五号(一月二〇日)……………五〇

○三月自衛隊立川進駐へ本格的実力闘争で応えよ

○学費闘争の全国的大爆発を大胆に押し進めよ 闘争報告(青学大、学習院大、関西、弘前)

○組織建設における焦眉の課題 共青同・反帝戦線の更なる飛躍に向けて(その一)

○情勢の新局面と我々の道(五) 共産同政治局
○非合法・非公然領域の開削を対権力闘争の内実として打ち取れ 共産同弾対部

○過渡期世界の現段階と我々の路線 三上治
○時間・空間と政治組織 神津陽
☆二六号(二月十日)……………五三

○自衛隊立川進駐を破砕し沖繩派兵を阻止せよ 全ての敵対一分断策動を粉碎し阻止戦の中心環に放送塔・壱塚の強化へ

○学費・学園闘争の更なる展開を打ち取り、沖繩―砂川―三里塚へ還流する闘う社会拠点を構築せよ 闘争報告(明学大、学習院大各反帝戦線)

○三里塚第二次強制収用闘争への報復攻撃を粉碎せよ 三里塚中央闘争本部

○職域―地域―家族域を地区運動へ統合し労働戦線を革命的陣型に構築せよ

○官憲の殺人罪デッチ上げ―権力と一体化したサンケイを許さず
☆二七号(三月五日)……………五五

○権力の新たな組織攻撃を打ち砕け 階級攻防の激化に組織再編で応えよ

○三・一一集會に結集し立川闘争の強化を基地封鎖マヒを拡大せよ

○「反戦壱塚ニュース」(転載資料)
○過渡期世界における軍事再編の現局面

○学費値上阻止、入試粉碎を軸に学生戦線の再編を打ち取れ 闘争報告(龍谷大、農工大、法政大、小樽商大、東北大教養、愛媛大)

☆二八号(三月二〇日)……………五七

○砂川放送塔―三里塚鉄塔の攻防から新たな社会的団結を創出せよ

○壱塚―放送塔を武器に立川先遣隊をたたき出せ 砂川

○権力の報復攻撃をはねのけ鉄塔を軸に六月開港阻止へ 三里塚

○対権力攻防の高次化に「赤燈社」建設で反撃の端を拓け 工場・職場拠点闘争の現段階と展望 闘争報告(光文社、テック)

○叛旗派連統討論集會からの報告
☆二九号(四月五日)……………五九

○日帝の泥沼的政治―社会再編を粉碎せよ 組織建設における焦眉の課題 共青同・反帝戦線の更なる飛躍に向けて(その二)

○関西の地にわが同盟の砲火を打ち抜け 関西地区反帝戦線連合四・一四集會実行行委

○権力の組織破壊―主体圧殺許さず救援活動の飛躍を打ち取れ 弾対―救対活動の現状

○三・一九―二〇反帝戦線労働者合宿報告
○日本革命運動の革命的批判のために 連合赤軍派に対するわれわれの見解
☆三〇号(五月五日)……………六三

○第三次琉球処分粉碎 沖繩闘争の本格的潮流の創出へ

○四・二八闘争へ圧倒的決起す
○新たに戦列へ結集される戦士達へ 新入生諸君へのアピール 首都圏反帝戦線連合

○関西の地に戦闘宣言を打つ 四・一四報告 小樽、弘前でも集會貫徹

○日一琉一一体化阻止闘争へ起つ 龍谷大
○六月本進駐阻止に向けて、壱塚の要塞化進む 砂川

○救援体制の更なる強化を赤燈社アピール
○五・一三沖繩集會への招待
○再開発―青い空の胸さわぎ (寄稿) 柏

駅東口再開発阻止共闘会議

☆三二号(五月二〇日).....六五

○沖繩返還から併合への全面侵攻を爆砕せよ

○自衛隊立川基地本進駐阻止ノ六・一一砂川へ

○「政治過程論」主義ノ火派を粉碎し新たな闘いの水路を拓け 関西地区反帝戦線連合

○沖繩闘争と綱領問題 五・一三共産同沖繩討論集会基調提案 神津陽

☆三二号(六月五日).....六七

○沖繩一砂川一三里塚を通底する階級的契機とは何か

○六・一一立川基地包囲制圧大行動に全戦線から結集せよ

○派兵・進駐阻止へ進撃せよ 首都圏反帝戦線連合アピール

○階級創成の苦闘の中、開港阻止の闘いを持続

○組織建設における焦眉の課題 社会拠点闘争と政治党派 共青同準備委

○第四次中大闘争の爆発に向け更なる前進を開始す 中大班

○七一年十一・一九沖繩闘争の統一公判克ち取る 赤灯社報告

☆三三三号(六月二〇日).....六九

○七・一五北熊本現地闘争に起て 沖繩派兵一軍事網再編を阻止せよ

○なしくずし進駐H.U.1B管制訓練を許すな(砂川)

○三里塚へ第八次弾圧ノ下の対権力攻防の現局面

○弾圧粉碎集会へ結集せよ 共産同弾対部・救対部

○労働戦線に於る階級形成への視座(その一)

☆三四号(七月五日).....七一

○沖繩派兵を最前線で阻止せよ 北熊本、横田へ同時決起を

○現闘一獄中一救対の強固な陣型をもって敵権力の報復弾圧を粉碎せよ

○七・二五首都圏労働者集会へ圧倒的結集を

○学生処分撤回闘争報告(上) 反帝戦線青学大班

○五・二二集会貫徹し本格的拠点闘争の開始へ 反帝戦線東大C班

○情勢の新局面と社会的運動の諸問題(上) 共産同政治局

☆三五号(七月二〇日).....七三

○派兵阻止闘争の圧倒的展開を踏まえ日一琉一一体化粉碎へ更なる前進を

○労働戦線の新天地を切り拓け 七・二五労働集会報告

○緊急アピール 反帝戦線三里塚現地闘争本部

○反帝戦線、関西の地に勇躍す 七・一一派兵阻止関西総決起集会報告

○七・五「塹壕」映画集会開く 九大工学部

○敵権力の攻勢の激化に反撃の焰を 共産同弾対部・救対部

○学生処分撤回闘争報告(下) 反帝戦線青学大班

○獄中同志のアピール 備前良雄、梅村城次

☆三六・三七合併号(九月五日).....七五

○支配階級の泥沼的世界再編に抗し、旗幟を鮮明に秋期闘争へ

○情勢の新局面と社会的運動の諸問題(下) 共産同政治局

○労働戦線に於ける階級形成への視座(その二)

○社会的諸闘争の持続的展開に向けて 闘争報告寄稿(教育社一西陸也、光文社一童子陽)

○「九・一六三里塚を闘う人民大集会」の招請状 青年行動隊

☆三八号(九月二〇日).....七九

○組織破防法的弾圧を突破し秋期闘争へ更に前進せよ

○支配階級の反攻勢と我々の戦略一戦術

○九・一〇相模原補給廠直撃戦を貫徹

○九・一六攻防の端緒における我々の敗北と総括 三里塚闘争の現段階と諸問題

☆三九号(一〇月五日).....八一

○ベトナム一沖繩民衆と固く連帯し、十一闘争の圧倒的爆発を 相模原一横田一立川一北熊本を貫く全国反軍・反基地闘争を闘い抜け

○龍大学費一学園闘争の根底的総括と闘いの更なる切開一前進に向けて 反帝戦線龍谷大学班

○一〇・一四三多摩労学総決起集会に結集せよ

○鉄塔闘争の内実を克ち取れ 三里塚現闘報告

○昨秋九・一六、一一・一九闘争救対報告

☆四〇号(一〇月二〇日).....八三

○首都圏基地網一兵站ラインを直撃せよ

○反戦・基地・自衛隊闘争の圧倒的高揚を

○一〇・二一闘争報告

○新たな学園闘争の創出へ向けて 全共闘運動の総括と我々の基調(I)

○労働戦線に於る階級形成への視座(その三)

☆四一号(一一月五日).....八五

○ベトナム一沖繩を通底する民族一国家一世界空間の破砕を闘いの原基とせよ

○ベトナム和平を巡る諸問題と我々の基本的視座

○新たな学園闘争の創出へ向けて 全共闘運動の総括と我々の基調(II)

○学費闘争報告(中大班・学習院大班各反帝戦線)

○国家一社会編成と革命の現実性 共産同政治集会によせて

○新たな学園闘争の創出へ向けて 全共闘運動の総括と我々の基調(III)

○学費学園闘争報告(慶応日吉、学習院、青学大、中大各反帝戦線)

○三里塚第二次代執行闘争裁判を闘うにあたって 東峰十字路闘争の切り拓いた地平を堅持せよ 反帝戦線被告団

○相模原闘争の中間的総括と我々の課題

○反戦一基地一自衛隊闘争の更なる前進に向けて

○闘争報告 一一・二六立川緊急行動

一九七三年

☆四四特別号(一月二〇日).....九一

○戦後世界秩序の破局を超える革命運動の火柱を 現下の政治・階級情勢と我々の展望

○立川自衛隊進駐阻止闘争の中間総括と自衛隊放逐一基地撤去への展望

○自衛隊本進駐阻止 立川闘争現闘日誌

○かくめいする民衆のこころを北総台地に 三里塚現闘本部

○首都圏、関西政治集会圧倒的に克ち取る

○戦後労働運動の転質に向けて

○革マル追放・当局の管理支配体制粉碎に向けて 早大衆闘争の自立的展開を貫徹せよ

○「存在」一攻防勝利に向けて 救対・弾対活動の飛躍的強化を 赤燈社アピール

○K君への手紙 獄中同志のアピール(鈴木秀人)

○情勢への血路と国家の諸問題 国家の歴史的使命と死滅の考察(上) 三上治

☆四五号(二月五日).....九七

○「反戦一基地一自衛隊」闘争へ更なる進撃を さみだれ進駐阻止、自衛隊放逐、基地撤去へ更に前進せよ

○ニクソン声明とベトナム和平に対する我々の見解

○中大闘争の飛躍を目指して 反帝戦線中大班

○当局、革マル、民青の闘争収拾、圧殺策動を粉砕し早大闘争の更なる進撃を 反帝戦線早大班

☆四六号(二月二〇日).....九九

○戦後世界を覆す革命運動の原基を更に鮮明化せよ 民衆の内発的、自発的共同性の水脈を掘り起せ

○闘争報告(朝霞、横須賀、立川)

○遠藤検事を更に追求し放逐せよ 三里塚闘争裁判の現況と課題

○光文社闘争一〇〇〇日を突破

○処分攻撃粉砕闘争の現段階と当面する諸課題(青学大闘争中間総括)

○学費闘争報告 反帝戦線麻布学園班

○赤燈社報告

○戦線復帰アピール 今西崇男

☆四七号(三月二〇日).....一〇一

○「党一大衆」運動の根底的止場に向け、具体的実践的な闘いを大担に切り拓け 春闘闘争へ向けた闘いの総括と展望

○春闘における階級的契機と我々の過渡的任務

○「直接一実力一持続」の旗の下に闘う戦線を結集し進駐阻止 基地撤去へ更に前進せよ 砂川現闘報告

○三・六三里塚公判へ六〇〇名が決起

☆四八・四九合併号(五月五日).....一〇三

○立川一朝霞、早大、春闘の激闘から五一五沖繩闘争への一大決起を組織せよ

○現下の政治一軍事一経済再編と階級闘争の焦眉の課題

○新たな社会闘争の水路を拓き泥沼的インフレ政策を粉砕せよ 商品投機の背後と我々の任務

○三菱商事攻撃闘争報告

○労働者運動の前進に向けて(上)

○革マル襲撃を粉砕しI文学生大会圧倒的に貫徹す 反帝戦線早大班

○過渡期の苦悶をかくめいへ 関西地区反帝戦線連合

○のろし派の妨害を粉砕し愛媛地区反帝戦線結成さる

○五・一四立川闘争へ総決起せよ 反帝戦線現闘団

☆五〇号(五月二〇日).....一〇七

○日帝の泥沼的延命策を打ち砕く、六月攻勢へ 五一一五沖繩闘争、首都に炸裂

○五・一六村井声明を断じて許さずカクマールせん滅、早大解放へ更に進撃せよ

○五・一〇一三一三里塚、五・二一四立川闘争報告

○全国反帝戦線大会報告

○戦線復帰アピール(石井、大野、竹内、深沢、梅村、柳)

☆五一号(六月五日).....一〇九

○民衆の自発的・内発的共同性を開削し、政治闘争の内化、社会闘争の拡充へ

○へ自立とへ叛逆の拠点を更に打ち固め、持続一実力的大衆運動の重層的展開を六・四革マルを完全撃破 早稲田報告

○泥沼的インフレ構造を打ち砕く、革命派の潮流を準備、形成せよ

○三上治下獄の報告

☆五二号(六月二〇日).....一一一

○社会過程の根源的な力を自立的な大衆運動の増殖へ

○へ早稲田解放・革マル放逐の更なる激闘を 六・一四機動隊導入・大量逮捕糾弾

○壊死したバリ・ストの内化を生活日常の彼方に 慶大闘争中間総括

○情勢の血路と国家の諸問題 国家の歴史的命运と死滅の考察(下) 三上治

☆五三号(七月五・二〇日).....一一三

○早大一投機闘争の圧倒的展開に踏まえ、日本革命運動の核心へ漸進せよ 分派一党派

闘争以降三年有余の組織的理論一経験蓄積を全戦線に取りこめ

○へ自立とへ闘闘性へを日本学生運動の奔流へ

○学費値上げ粉砕一週間時限スト貫徹 麻布学園班

○労働者運動の前進に向けて(中)

○早大六・一四弾圧、組織壊滅策動を粉砕せよ 赤燈社

○七二・一一・一九竹下、鈴木、菅原同志を奪還す

☆五四号(八月五日).....一一五

○反帝戦線全国大会へ全戦線一領域から結集し、秋期攻勢への進撃の狼煙を

○大衆の内発的共同性の原基を政治情況の根柢に見据えよ

○存在攻防と国家批判(上) 共産同救対部

○学生運動の深部からへかくめいへを(早大闘争中間総括、青学大闘争報告)

☆五五号(八月二〇日).....一一七

○権力一民衆攻防史を見すえ、革命の豊かな水脈へ架橋せよ

○存在攻防と国家批判(下) 共産同救対部

○八戦士の即時保釈を 六・一四早大解放闘争公判へ向けて

○組織建設の現段階と我々の道 わが運動一組織上の理論的諸問題

○革命の歌なんか聞えない 獄中アピール 今西崇男

☆五六号(九月五日).....一一九

○権力攻防の旋回軸を把み政治闘争の内化、社会闘争の拡充へ

○八月反帝戦線大会報告

○全国より党一大衆止揚の狼煙を 地区報告(関西、愛媛、群馬、弘前各地区反帝戦線)

○労働運動の前進に向けて(下)

○権力・資本を更に追撃す 光文社闘争報告

○戦線復帰アピール 六・一四早大闘争戦

士(被告団)

☆五七号(九月二〇日).....一二一

○ミッドウエー横須賀寄港を阻止し、朝霞自衛隊パレードを粉砕せよ

○擬制的民衆運動の終息を新たな戦闘の創成へ 反帝戦線三里塚現闘本部

○春期闘争総括から今秋期闘争の強固な態勢へ 首都圏反帝戦線連合

○早大闘争の根源性の開削と我々の立場 反帝戦線早大班

○弾圧の嵐に抗し、獄中一獄外の反撃を 赤燈社

☆五八号(一〇月五日).....一二三

○現下の権力攻防の特質と我々の政治的任務

○十・五横須賀一三里塚連続闘争報告

○列島深部に偏在する階級矛盾を革命構想力へ架橋せよ 関西地区反帝戦線連合

○一〇一十一月革マルとの対峙一拮抗戦に勝利し、早大闘争の爆発的展開を準備せよ

○国家との全存在を賭けた白昼の死闘へ 獄中アピール(高橋克行)

☆五九号(一〇月二〇日).....一二五

○革命一民衆像を鮮明化し過渡期階級闘争を深化せよ

○一〇・二一闘争昂揚す

○一〇・二九原子力発電所阻止伊方現地闘争へ 関西地区反帝戦線

○情況の強いる不断の獄壁を打破れ 十一・一九被告団

○一十一月総進撃へ全国一全戦線より呼応せよ 反帝戦線早大班

○へ国家一民衆への擬態制の破砕へ 反帝戦線青学大班

☆六〇号(一一月五日).....一二七

○革マルとの対峙一拮抗戦を貫徹し、早大闘争の爆発を

○十月闘争の成果を踏まえ、十一月首都へ総進撃せよ 関西反帝戦線連合

- 一〇・二八朝霞現地闘争打ち抜く
- 一〇・一九・二九伊方原発闘争報告 愛媛地区反帝戦線
- 早大闘争と学生運動の焦眉の課題(上)
- 裁判闘争の深化と我々の課題 赤燈社
- 法大費用闘争裁判勝利のために 高橋克行(東拘在監)

☆六一号(一月二〇日)……………一二九

○階級再編—生活破局をみすえ歴史的階級像をわがものとせよ

- 早大闘争の現段階と政治集団の任務
- 一・二一—二六革マル早稲田祭粉砕へ
- 一・八早大闘争報告
- 拡散する情況に拮抗し三里塚闘争の磁場へ 反帝戦線三里塚現闘本部

☆六二号(一月二五日)……………一三一

○戦後秩序拡散化の歴史と主体情況を透視せよ

- 早大解放—インフレ粉砕へ向け首都圏、関西集会へ
- 早大闘争と学生運動の焦眉の課題
- 当局—革マルを串刺す主体の極北、戦闘のリアリズム 早大祭粉砕闘争報告
- 構造的インフレ—資源危機攻防を直視し民衆定在へ垂鉛を

一九七四年

☆六三号(一月五日)……………一三三

- 生活—関係危機の渦中から歴史的階級像への肉迫を
- 三里塚闘争と民衆経験の時間化 戸村選挙を巡る集団表現—編成の根拠 三里塚現闘本部
- 青学大闘争の迂回路は何を意味するか反帝戦線青学大
- 赤燈社報告
- 広汎で強固な反帝戦線の建設を更に推進せよ 高橋克行(東拘在監)

☆六四号(一月二〇日)……………一三五

- 政治—民衆運動蓄積を経験化、構想化せよ 戸村氏参院立候補、選挙闘争は敗北の道行である 三里塚現闘本部
- 労働者運動と我々の課題 光文社闘争を巡って 西北地区反帝戦線
- 現局面の危機を把握し、国家—民衆共同性発現を直視せよ
- 二・二七共産同政治集会へ

☆六五号(二月五日)……………一三七

○諸派の混迷を他山の石とし、理論、組織を打ち鍛え—春期攻勢へ

- 鉄塔—第二期工事闘争を巡る諸課題 農民—民衆運動の転生へ向けて 三里塚現闘本部
- 伊方闘争の現局面と展望 関西反帝戦線連合
- ロックアウト—学費値上げを弾機に集団間抗争から真制の大衆闘争へ 反帝戦線明学大
- 救援運動の更なる強化のために 三・一六—一七全国救援活動者会議によせて 赤燈社

☆六六増大(三月五・二〇日)……………一三九

●金融資本を包囲し攻撃し、全人民的暴動を開始せよ

- 救援運動の更なる強化のために 三・一六—一七全国救援活動者会議に寄せて 赤燈社
- 春期連続公開講座へ
- 自立した労働者運動への課題 光文社闘争の集団編成を巡って
- 戸村参院選と民衆共同性の行方 二・二七政治集会現闘発言(要旨)
- 情勢の旋回軸と我々の課題—インフレ闘争の理論的解明のために—

☆六七号(四月五日)……………一四三

○四・二八に総結集し独占資本の包囲—攻撃へ

- 全ての地域—拠点に反インフレ行動委を
- 四・一八共産同関西政治集会へ

- 情勢の旋回軸と我々の課題 インフレ闘争の理論的解明のために(第二回) 共産同政治局
- 講読料改訂のお願い 叛旗編集局
- ☆六八号(四月二〇日)……………一四五
- 反インフレ闘争の持続化の成果を四・二八へ 独占資本包圍攻撃闘争へ!!
- 刑法改悪が意図するものは何か 「前提」の整理と行動への序(上) 赤燈社
- 再び、我々は三里塚闘争の参院選への歪曲を許さない 反帝戦線三里塚現闘

☆六九号(五月五日)……………一四七

○権力構想への隘路と反インフレ闘争における二つの道 五・三〇行動に東西で起る

- 四・二八—五・一報告(首都圏)
- 電力料金値上げ公聴会粉砕闘争(関西、愛媛)
- 反インフレ闘争と労働者運動
- 就労闘争を貫徹 光文社報告
- 刑法改悪が意図するものは何か 「前提」の整理と行動への序(下) 赤燈社
- 三里塚闘争の総括視座 反帝戦線三里塚現闘
- 情勢の旋回軸と我々の課題 インフレ闘争の理論的解明のために(第三回) 共産同政治局

☆七〇号(五月二〇日)……………一五一

○参院選への後退と対峙し、反インフレ闘争の広さと深さを獲得せよ!

- 五・一八大会宣言 全都反インフレ行動委結成準備大会にて
- 三里塚闘争の総括視座 反帝戦線三里塚現闘
- 六・一八共産同政治集会への招請

☆七一号(六月五日)……………一五三

○選挙妄動か、党派闘争至上化か、インフレ闘争の深化か 政治、経済、階級情勢の環を鮮明に六・一八へ!

- 光文社闘争と労働者運動にとっての普遍性 反帝戦線光文社闘争班

- 六・一五全国大会へ総結集せよ—全国反帝戦線連合
- ☆七十二号(六月二〇日)……………一五五
- 選挙の悲喜劇か、反インフレ—刑法改悪阻止闘争の前進か!
- 六・一五—一八の圧倒的成果を踏まえ、秋期攻勢への地歩を固めよ!
- ☆七十三号(七月五日)……………一五七
- 参院選後の支配階級の延命策を思想的—実践的に突破せよ
- 夏期連続公開理論講座へ!
- 情勢の旋回軸と我々の課題 インフレ闘争の理論的解明のために(第四回) 共産同政治局

☆七十四号(五月五日)……………一五九

○階級闘争の転換局面を直視し、更なる飛躍を! 秋期—インフレ—刑法—闘争へ!

- 「米価審議会」粉砕闘争に決起す!
- 高橋同志保釈、立川闘争判決下る
- 情勢の旋回軸と我々の課題 インフレ闘争の理論的解明のために(第五回) 共産同政治局

☆七十五号(八月二〇日)……………一六一

○米価値上で粉砕を突破口に、九月全面攻勢へ! インフレ矛盾の顕現化の回路と支配層の階級統合策を透視せよ

- 情勢の旋回軸と我々の課題 インフレ闘争の理論的解明のために(最終回) 共産同政治局
- ☆七十六号(九月五日)……………一六三
- 米審闘争の根底的深化から秋期闘争の全領域へ
- 反インフレ行動委 米審粉砕へ向け決起

○商短バリスト判決下る

○革命—運動—組織の飛躍へ向けて

- ☆七十七号(九月二〇日)……………一六五
- インフレ—刑法闘争、朝鮮問題、部落解放問題のつきつけるものは何か
- 刑法闘争の戦線構築を準備せよ

○一〇・五刑法改悪阻止討論集会へ／
☆七八号(一〇月五日)……………一六七

○朝鮮・アジア民衆の苦闘と如何に連帯し
うるか 政治実践と国際主義の断層
○部落解放運動の歴史諸問題 部落解放闘
争への我々の見解 共産同政治局
○戦線復帰アピール 高槻修
☆七九号(一〇月二〇日)……………一六九

○「戦後」世界自壊の縫合策を演ずる支配
者層の野望を粉砕せよ
○反インフレ行動貫徹す!! 関西地区反帝
戦線連合
○青学大闘争裁判を終えて へ終りへの確
認について 沢田俊一
○六九年秋期決戦 戦闘団裁判―総括報告
宮崎忠

☆八〇号(一一月五日)……………一七一
○外交劇の危機を直視し フォード来日阻
止へ／
○刑法闘争の戦線構築を準備せよ／ へ憲
法―刑法―闘争への序
○学費闘争の旋回軸は何か
●退化する学生運動に実践を刻み込め／
立大学費闘争中間報告 (立大反帝戦線)

☆八一号(一二月一日)……………一七三
○学費問題の背後にうごめく大学共同幻想
の転位と変質を撃て／
○天上の批判から地上の批判へ 差別糾弾
闘争への転落を許さず学費闘争の大道へ／
(立大反帝戦線)

○インフレ批判の基礎理論 第一回
☆八二号(一二月二五日)……………一七五
○国家的契機の接木を峻拒し自立的労働者
運動の創出へ／
○三里塚闘争の根源的課題 沈黙せる三里
塚農民と如何に連帯しうるか

一九七五年
☆八三号(一月一日)……………一七七

○全世界を獲得するために へ情勢への根
底とへ主体への根柢を架橋する道とは何か
○大道無門 ―革命派の基準と鞍部―
○インフレ批判の基礎理論―序(連載第二
回)

☆八四号(一月一五日)……………一八一
○深化する戦後の危機を更に深く把握し、
退路なき闘いの橋頭堡を築け
○遺制的政治概念としての大学闘争とへ表
現―空間との対峙へ／ 学費闘争の現段階
反帝戦線成蹊大闘争班

○インフレ批判の基礎理論(連載第三回)
☆八五号(二月一日)……………一八三
○大学のへ場へに取り憑かれた政治理念を
解体、止揚せよ／
○立大学費闘争中間総括 立大反帝戦線
○龍谷大学費闘争中間総括 龍大反帝戦線
○大道無門 ―革命派の基準と鞍部―(補
論)

☆八六号(二月一五日)……………一八五
○戦後秩序拡散を内視し政治、社会組織の
転機とせよ／
○一一・一九沖繩闘争に実刑判決下る
○インフレ批判の基礎理論(連載第四回)
○窮極の泥沼に立ち向かうへ意志―とは
日下農

☆八七号(三月一五日)……………一八七
○戦後社会構造の全面的露出を政治実践構
想から射的せよ
○青学大学費闘争中間総括 青学大反帝戦線
○同志星の死は何を問うているか 共産主
義者同盟
○哀辞 梶基二
○自死せる弟へのレクイエム 安田実

☆八八号(四月一日)……………一八九
○戦後の危機と腐蝕に抗せよ 統一地方選
挙への仮託は敗北的道行きである
○政治―組織表現の時代的危機を如何に克
服するか―四・二八共産同政治集会中止、
延期決定について内外の同志・友人に向け
た「同盟回状」― 共産同政治局
○私たちはどこにあり、どこに赴かんとす
るか ―戦士の帰結と現在―(その一)
七一・一一・一九沖繩闘争被告団

☆八九号(四月一五日)……………一九一
○大学像の解体と転向の根を撃て／戦後学
生運動の転換の指標とは何か
○戦後労働運動の変容と転機 ―労働者運
動の血路は何処か―
○懲戒解雇裁判全面勝訴／ 光文社闘争
☆九〇号(五月一日)……………一九三
○過渡期世界の深部に胎動するものは何か
ベトナム・インドシナ解放闘争と我々の
立場
○我々の擁護すべきものは何か ―沖繩闘
争の総体像と控訴審への回路―(その二)
一一・一九沖繩闘争被告団
○経済共同体編成―経済共同体的観念と部
落問題

☆九一号(五月一五日)……………一九五
○時代の転形過程を権力闘争の再生へ／
―国家・大衆・党派の変容と戦闘の展望―
○光文社闘争の現況と支援を巡る課題 反
帝戦線光文社闘争班
○六・一四早大公判闘争小括 六・一四早
大闘争被告 今西崇男

☆九二号(六月一日)……………一九七
○我々の昨日・今日・明日と階級的想像力
―歴史と社会の主題喪失と政治表現―
○七・一、七・五共産同集會に結集せよ／
○戦後世代と天皇制の諸問題 ―戦後ナン
ヨナリズムの構造と行方―
○深層海流

☆九三号(六月一五日)……………一九九
○権力闘争の血路に向って共通の指標を／
○戦後国家像の歴史の変容と戦闘の創造
○政治運動の自立的径路とは何か ―関西
的へ牧歌への終焉を対象的課題に登場させ

るために― 共産同関西地方委員会
○深層海流
☆九四号(七月一五日)……………二〇一
○ベトナム―インドシナ、朝鮮と我々の実
践―想像力の定在
○政治行動における戦後性の刻印 ―爆弾
事件に関する我々の立場―
○深層海流

☆九五号(八月一五日)……………二〇三
○世界認識の構成的水準とは何か 左翼同
伴知識人の退廃とその末路
○戦争とインフレを死滅に追い込む情況の
内在性を透視せよ／
○八・三―二四 反帝戦線全国大会へ結集せよ／
○深層海流

☆九六号(九月一日)……………二〇五
○革命・組織・実践像と焦眉の課題 ―反
帝戦線全国大会を終えて
○労働争議支援における一定の前提的視座
反帝戦線光文社闘争班
○発刊体制をめぐるお詫びと報告 編集局
○深層海流

☆九七号(一〇月一五日)……………二〇七
○同盟内論争、その結果と展望 ―内ゲバ
情況と政治帯域の変容―
○我が組織内論争の原則と経緯 ―三上治
の組織離脱公表に際して―共産同中央委員
会
○へ資料―総括と展望 三上治
○現下における政治思想の核心は何か 共
産主義者同盟
○「叛旗」編集の総括と政治新聞の表現範
型について 共産同編集局
○深層海流

☆九八号(一一月一日)……………二一一
○我々は何処に在り、何処に赴かんとする
か―戦後社会拡散・変容下の政治的方位―
○大学日常をめぐる現在の自立闘争の課題
(上)
○深層海流

☆九九号(六月一五日)……………一九九
○権力闘争の血路に向って共通の指標を／
○戦後国家像の歴史の変容と戦闘の創造
○政治運動の自立的径路とは何か ―関西
的へ牧歌への終焉を対象的課題に登場させ

☆九〇号(五月一日)……………一九三
○過渡期世界の深部に胎動するものは何か
ベトナム・インドシナ解放闘争と我々の
立場
○我々の擁護すべきものは何か ―沖繩闘
争の総体像と控訴審への回路―(その二)
一一・一九沖繩闘争被告団
○経済共同体編成―経済共同体的観念と部
落問題

☆九一号(五月一五日)……………一九五
○時代の転形過程を権力闘争の再生へ／
―国家・大衆・党派の変容と戦闘の展望―
○光文社闘争の現況と支援を巡る課題 反
帝戦線光文社闘争班
○六・一四早大公判闘争小括 六・一四早
大闘争被告 今西崇男

☆九二号(六月一日)……………一九七
○我々の昨日・今日・明日と階級的想像力
―歴史と社会の主題喪失と政治表現―
○七・一、七・五共産同集會に結集せよ／
○戦後世代と天皇制の諸問題 ―戦後ナン
ヨナリズムの構造と行方―
○深層海流

☆九三号(六月一五日)……………一九九
○権力闘争の血路に向って共通の指標を／
○戦後国家像の歴史の変容と戦闘の創造
○政治運動の自立的径路とは何か ―関西
的へ牧歌への終焉を対象的課題に登場させ

☆九九号(十一月十五日)……………二二三

○我等ノ所業終候処ヲ爾等眼ヲ開テ看ヨ
○政治党派が問われてゐる争議関与の準位
は何か 反帝戦線光文社闘争班

○大学日常をめぐる現在の自立闘争の課題
(下)

○一二・一二共産同政治集会へ
○深層海流

☆一〇〇号(二月一日)……………二二五

○へ自己史とへ生活圏の思想的基底よ
りへ死すべき国家を透視せよ 政治思想
の鞍部に主体的現在の刻印を

○内ゲバ状況は如何にして克服しうるか
―永久非転向者!?三上治に込める― 神津
陽

☆一〇一号(二月十五日)……………二二七

●職場内における沈黙とタブーに着目せよ
弘済会闘争報告 反帝戦線弘済会闘争班

○意志の選択する日常の現段階 ―慶大学
費闘争からの報告 反帝戦線慶大版

○私たちの現在課題と撤収基準とは何か
一一・一九沖繩控訴審初公判を前にして

一一・一九沖繩闘争被告団
○深層海流

一九七六年

☆一〇二・三合併号(一月一日・一五日)

○更なる時代閉塞化の政治組織・運動の方
位 76年頭に際しての所見 共産主義者同
盟……………二一九・二二一

○一二・一二共産同政治集会報告
○春季労働講座(全五回)の開催に向けて
○労働争議支援における一定の前提的視座
反帝戦線光文社闘争班

○読者各位へ 共産同編集局
○三里塚闘争と我々の主体的現在 ―現闘
団凍結をめぐって 梶基二(文責)

○さ迷う経済思想―学と経済過程の行方
坂田正彦

○本来的政治の始まりと終りについでにノ
オト 立花薫

○深層海流
☆一〇四号(二月一日)……………二二五

○直面するかくめいを浮き彫りにせよ
○星同志一周忌を追悼す

○原審判決への思想的異論 ―控訴趣意書
補充書― 一一・一九沖繩闘争被告団

○何故、依然としてへ大学へであり、へ学
費へであったのか 日大芸術学部反帝戦線
○公開労働講座への呼びかけ

○読者各位へ ―購読料金の値上げについ
て 共産同編集局

○深層海流(K)(M)

☆一〇五・六合併号(二月一五・三月一日)

○状況の根柢に垂鉛を下し未知への抗道を
開削せよ……………二二九

○労働主体の意識・関係の変容を直視せよ
―労働講座中間報告と案内

○ロッキード問題への視点
○幻想・大学・学生日常・生活過程 京浜
地区反帝戦線青学大版

○鼎談 大衆像と政治の持続 ―三里塚現
闘の経験が喚起したもの 立花薫(司会)

坂田正彦 梶基二
○教育労働者運動を日常圏から組織せよ
太刀川守

○弘済会闘争報告 弘済会闘争支援会議
○深層海流(S・S)

☆一〇七号(三月一五日)……………二二七

○情况的政治の尖端的位相に踏み出せ
○前衛コミニケーションの終焉から持続
的政治活動の賦活へ―大学のへ場へをめぐ
る情況

○教育社闘争の現況と我々の判断 反帝戦
線教育社支援班

○職域からの諸発言 労働講座実行委員会
○関西教労研の課題 関西反帝戦線

○青学大学費裁判決計報告 被告 前川藤一

○組織現状の自己診断を― 直面する内
的課題への提言 神津陽

○深層海流(F・H)

☆一〇八号(四月一日)……………二四一

○中・ソ対立の現段階と我々の透視する道
○座談会 非政治的な、あまりに非政治的
な(上) 71・11・19新宿行動以後(上) 片桐徹
沢田俊一 田中英明 東精作

○自治体労働者運動の試練と克服の方途
板橋真澄

☆一〇九号(四月一五日)……………二四五

○流動する大衆状況をかくめいの磁場へ
○当世政治・思想地図と我々のコンパス
○光文社闘争と直面する貧困の深さ―職へ
場と関係意識の屈折点は 畦倉恭

○闘いの転換局面をどのように押えるか
―弘済会闘争報告。神田誠深層海流(T・K)

☆一一〇号(五月一日)……………二四九

○幻想・関係のかくめいと政治の自立へ
○座談会 沖繩闘争での経験は放たれたか
―非政治的な、あまりに非政治的な(下)

○片桐徹、沢田俊一、田中英明、東耕作
○労働者運動の現在課題と「労研」(南大
版発) 深層海流(K・M)

☆一一一号(五月一五日)……………二五三

○革命はここに、そして「ロッキード」の
彼方へ 六・一五共産同政治集会へ

○争議団運動における個と集団の関連 畦
倉恭(文責)

○被処分者同盟と大学日常の現在 ―東北
大生への手紙― 小林ちよじ

○自立思想は内ゲバを越えうるか!?―思
想と政治の切実な課題 神津陽

○深層海流(K・K)

☆一一二号(六月一日)……………二五七

○六・一八三上個人集會に異議アリ
七〇年代後期政治思想の切実な課題
○実利―遺制政治を撃ち、足下のかくめい
へ 六・二五共産同関西政治集会へ

○公開労働講座総括 労働講座実行委員会

○不可視の關係の連鎖 高見沢順 (一一
一九被告) 深層海流(S・M)

☆一一三号(六月一五日)……………二六一

○内ゲバ構造を越える戦後後の指標は!?
○大胆に細心に―六・一八情況の次へ

○「総合誌」発刊に向けて。深層海流(K・M)

☆一一四号(七月一日)……………二六五

○個・集団の現実性をへ時代へ判断の核に
政治の密室化を越える視座を

○沖繩闘争弁護団辞任 何が浮上したのか
(一一・一九被告団)

○再び「総合誌」発刊に向けて 編集局
(沢田)

☆一一五号(七月一五日)……………二六九

○戦後の自壊は撃てるか ―ピーナツッか
ら芥川賞まで

○東洋大移転問題と大学情況の底位 反帝
戦線東洋大版

○龍谷大闘争の更なる深化を 反帝戦線龍
谷大版

○制度に圍繞された日常の透視を 梶沢森
☆一一六号(九月一日)……………二七三

○現在の政治組織の帰すうは 政治
へ実践への固有時の現実へ

○情况的政治の更なる深化へ
京浜地区反帝戦線労働者会議

○閉塞感の中の小さな手掛り 立花薫
○更に混沌から屹立するために 片桐徹

○深層海流(S)。編集局通信(K)

八付 録

「叛旗」号外……………二七七

七一年一〇月一五日沖繩批准阻止闘争へ
七二年五月一〇日 五・一三―一五沖繩闘争
七四年五月三〇日 六・一八共産同政治集会
叛旗休刊のおわびとお知らせ……………二八一
叛旗派小史……………二八二
跋……………二八四